

## 自由金利型定期預金（M型）規定（スーパー定期）

### 1.（預金契約の成立）

当金庫は、お客様からこの預金に係る、当金庫所定の申込書の提出を受け、当金庫がこれを承諾したときは、この預金に係る契約が成立するものとします。

### 2.（預金の支払時期）

自由金利型定期預金（M型）（以下「この預金」といいます）は、証書（通帳）記載の満期日以後に利息とともに支払います。

### 3.（単利型）

#### A（利息）

（1）この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数（以下「約定日数」といいます。）および証書（通帳）記載の利率（以下「約定利率」といいます。）によって計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。

ただし、預入日の2年後の応当日から預入日の10年後の応当日までの日を満期日としたこの預金の利息の支払いは次によります。

①預入日から満期日の1年前の応当日までの間に到来する預入日の1年ごとの応当日を「中間利払日」とし、預入日または前回の中間利払日からその中間利払日の前日までの日数および証書（通帳）記載の中間利払利率によって計算した中間利払額（以下「中間払利息」といいます。）を利息の一部として、各中間利払日以後に、あらかじめ指定された方法により次のとおり支払います。なお、預入日の2年後の応当日を満期日としたこの預金（以下「自由金利型2年定期預金（M型）」といいます。）に限り、中間払利息を定期預金とすることができます。

a 現金で受取る場合には、当金庫所定の払戻請求書に届出の印章により署名（記名）押印してこの証書（通帳）とともに提出してください。

b 預金口座へ振替える場合には、中間利払日に指定口座へ入金します。

c 定期預金とする場合には、当金庫所定の基準により、中間利払日にその自由金利型2年定期預金（M型）と満期日を同一にする預入期間1年のこの預金（以下「中間利息定期預金」といいます。）とし、その利率は、当金庫の店頭に掲示する中間利払日における利率を適用します。

②中間払利息（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）を差引いた利息の残額は満期日以後にこの預金とともに支払います。

（2）この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

（3）債権保全の必要があるとき、その他当金庫が満期日前の解約を拒絶すべき事由があると認めるときは、この預金は満期日前に解約できません。

（4）当金庫がお客様からの解約請求に応じる場合、当金庫が債権回収のためにこの預金を解約する場合など、この預金を満期日前に解約する場合および定期預金共通規定4.（預金の解約、書替継続）(6)項により解約する場合には、その利息（以下「期限前解約利息」といいます。）は、預入日から解約日の前日までの日数について預入期間に応じた別表の掛目を約定利率に乗じた利率（小数点第3位以下は切捨てます。）によって計算し、この預金とともに支払います。

ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）と期限前解約利息との差額を清算します。

（5）この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

#### B（中間利息定期預金）

（1）中間利息定期預金の利息については、前記2. A.（1）の規定を準用します。

（2）中間利息定期預金の利息については、原則として預金証書を発行しないこととし（通帳の場合は、通帳に記載しないこととし）、

次により取扱います。

- ①中間利息定期預金の内容については別途に連絡します。なお、印鑑はこの預金の届出印鑑を兼用します。
- ②中間利息定期預金をこの預金とともに解約または書替継続するときは、証書の受取欄（通帳の場合は当金庫所定の払戻請求書）に届出の印章により署名（記名）押印して提出してください。

#### 4.複利型（預入期間 3 年以上）

（利息）

- (1) この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数（以下「約定日数」といいます。）および証書（通帳）記載の利率（以下「約定利率」といいます。）によって 6 ヶ月複利の方法により計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。
- (2) この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数について解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。
- (3) 債権保全の必要があるとき、その他当金庫が満期日前の解約を拒絶すべき事由があると認めるときは、この預金は満期日前に解約できません。
- (4) 当金庫がお客様からの解約請求に応じる場合、当金庫が債権回収のためにこの預金を解約する場合など、この預金を満期日前に解約する場合および定期預金共通規定 4.（預金の解約、書替継続）(6)項により解約する場合には、その利息は、預入日から解約日の前日までの日数について預入期間に応じた別表の掛目を約定利率に乗じた利率（小数点第 3 位以下は切捨てます。）によって 6 ヶ月複利の方法により計算し、この預金とともに支払います。
- (5) この預金の付利単位は 1 円とし、1 年を 365 日として日割で計算します。

#### 5.（規定の適用）

この規定に定めのない事項については、定期預金共通規定により取扱います。

#### 6.（規定の変更）

- (1) この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法第 548 条の 4 の規定に基づき変更するものとします。
- (2) 前項によるこの規定の変更は、変更を行う旨及び変更後の規定の内容並びにその効力発生時期を、店頭表示、インターネット又はその他相当の方法で公表することにより、周知します。
- (3) 前二項による変更は、公表の際に定める 1 か月以上の相当な期間を経過した日から適用するものとします。

以上

（2022 年 9 月 1 日現在）